

2019年5月9日

各位

会社名 アイエグループ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古川 教行
 (JASDAQ・コード 7509)
 問合せ先 常務取締役 岡野 良信
 (TEL. 045-821-7500)

特別損失の計上及び2019年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期決算におきまして、下記のとおり特別損失を計上することとしましたのでお知らせいたします。

また、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

① 投資有価証券評価損

当社が保有する投資有価証券を「金融商品に関する会計基準」に基づき評価した結果、減損処理による投資有価証券評価損112百万円を特別損失に計上することといたしました。

② 減損損失

当社が保有する飲食店舗の一部について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損処理による減損損失21百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 業績予想の修正

(1)2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	38,000	1,100	1,200	600	394円53銭
今回修正(B)	38,324	1,330	1,461	801	532円27銭
増減額(B-A)	324	230	261	201	—
増減率	0.9%	21.0%	21.8%	33.6%	—
(ご参考)前期通期実績 (2018年3月期通期)	32,822	891	1,013	△215	△141円01銭

(2)修正の理由

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、カー用品事業において15店舗の増加が通期寄与したことで、プライダル事業において固定費の削減により損失が減少したことが主要要因となり、売上高及び営業利益ならびに経常利益が前回発表予想を上回る見込みとなっております。

また、上記1.特別損失の発生(投資有価証券評価損112百万円、減損損失21百万円)があるものの、親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想値を上回る見通しであることから、通期の連結予想を上記の通り修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後さまざまな要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上